

平成 30 年度 全九州高等学校総合体育大会
第 71 回 全九州高等学校卓球競技大会



期日：平成 30 年 6 月 22 日（金）～24 日（日）
場所：鹿児島県鹿児島市（鹿児島アリーナ）
文責：鹿児島県高体連卓球専門部委員長
鹿児島県立鹿児島南高等学校 北 正博

平成 30 年度全九州高等学校総合体育大会・第 71 回全九州高等学校卓球競技大会は、平成 30 年 6 月 22 日（金）～24 日（日）まで鹿児島県・鹿児島市（鹿児島アリーナ）で開催されました。学校対抗には各県より男女 2 校・計 32 校、個人シングルスは男女各 5 名・計 80 名、個人ダブルスにおいては男女各 4 組・計 64 組が連日熱戦を繰り広げました。

男子学校対抗では、希望が丘高校（福岡）が決勝で明豊高校（大分）を 3-2 で破り 3 年連続 9 回目の優勝を成し遂げました。3 位には宮崎商業高校（宮崎）・鎮西学院高校（長崎）が入りました。

女子学校対抗でも決勝で、希望が丘高校（福岡）が明豊高校（大分）を 3-0 で破り 7 年連続 7 回目の優勝を飾り増した。3 位には敬徳高校（佐賀）・日南学園（宮崎）が入った。

個人戦男子ダブルスは、学校対抗優勝の立役者、吉田聖斗・阿部悠人（希望が丘：福岡）組が松下幸也・徳村優汰（宮崎商業：宮崎）組を 3-0 で破り、見事優勝しました。3 位には、下田奨磨・深谷海斗（開新：熊本）、中村和覇・岩間充晃（明豊：大分）が入りました。

個人戦女子ダブルスは、学校対抗を制した（希望が丘高校：福岡）の永道麻依加・稲吉美沙組が 3-0 で安田優佳・石崎瑞貴（開新：熊本）組を破り優勝し、3 位には、冨田真穂・山本紘菜子（鎮西学院：長崎）組と杉本果緒・山本千歳（希望が丘：福岡）組が入りました。

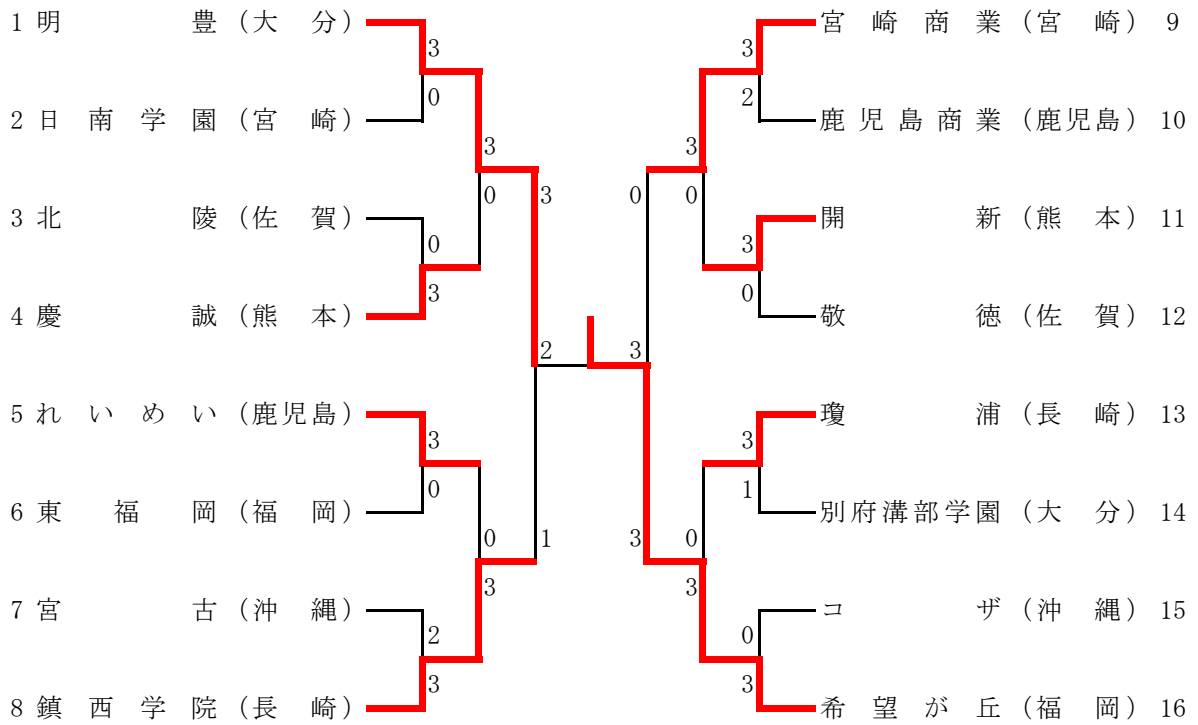
個人戦男子シングルスは、刘念（日南学園：宮崎）が 3-1 で近藤蓮（明豊：大分）を破り優勝を果たしました。3 位は徳村優汰（宮崎商業：宮崎）、吉田聖斗（希望が丘：福岡）でした。

個人戦女子シングルスは、永道麻依加（希望が丘：福岡）が池田三沙（日南学園：宮崎）を破り 3 冠を達成しました。3 位には中園涼花（明豊：大分）、榎谷優香（鹿児島城西：鹿児島）が入った。

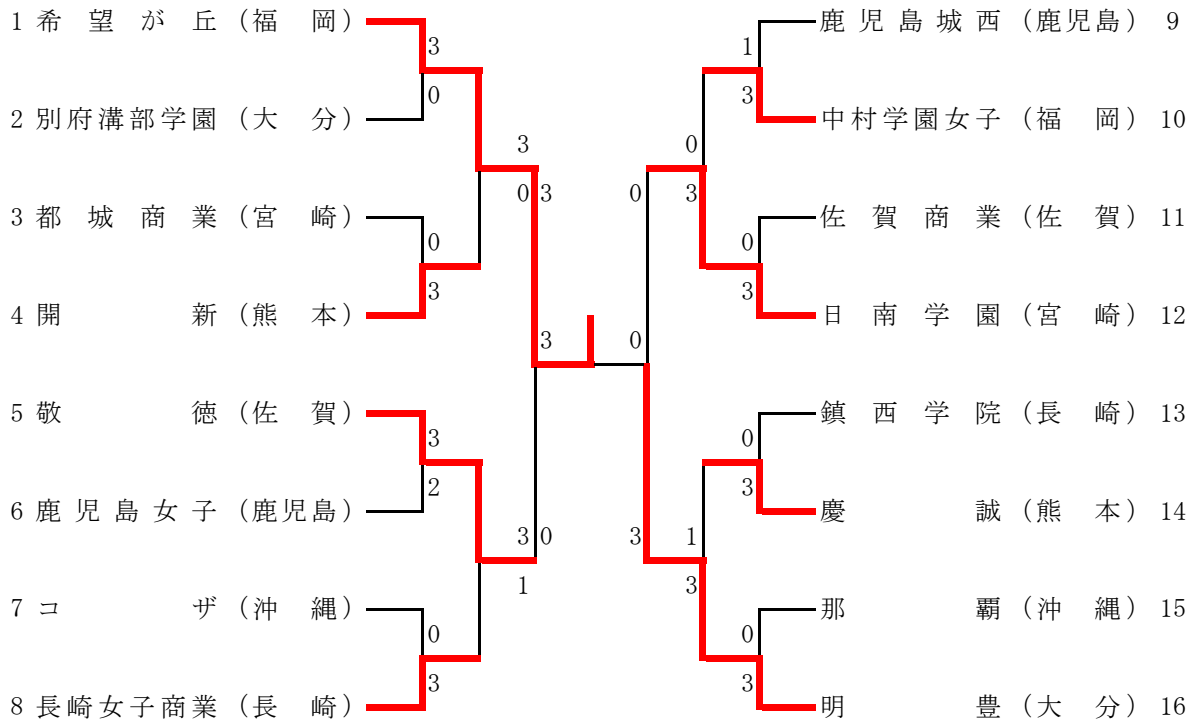
大会を振り返り、接戦の多かった今大会であった。3 年生にとって最後の全国高校総体でも、激戦を勝ち抜き九州勢の活躍が楽しみであります。頑張ってください。

最後に、鹿児島県卓球連盟のご尽力により今大会を無事終了させることができました。また、期末考査前という厳しい状況の中、高校生や部顧問の先生方にたくさん協力をもらいました。本当にありがとうございました。来年度は、鹿児島でインターハイ（卓球競技）が同じ場所で開催されます。今後ともよろしく願い申し上げます。

男子学校対抗



女子学校対抗

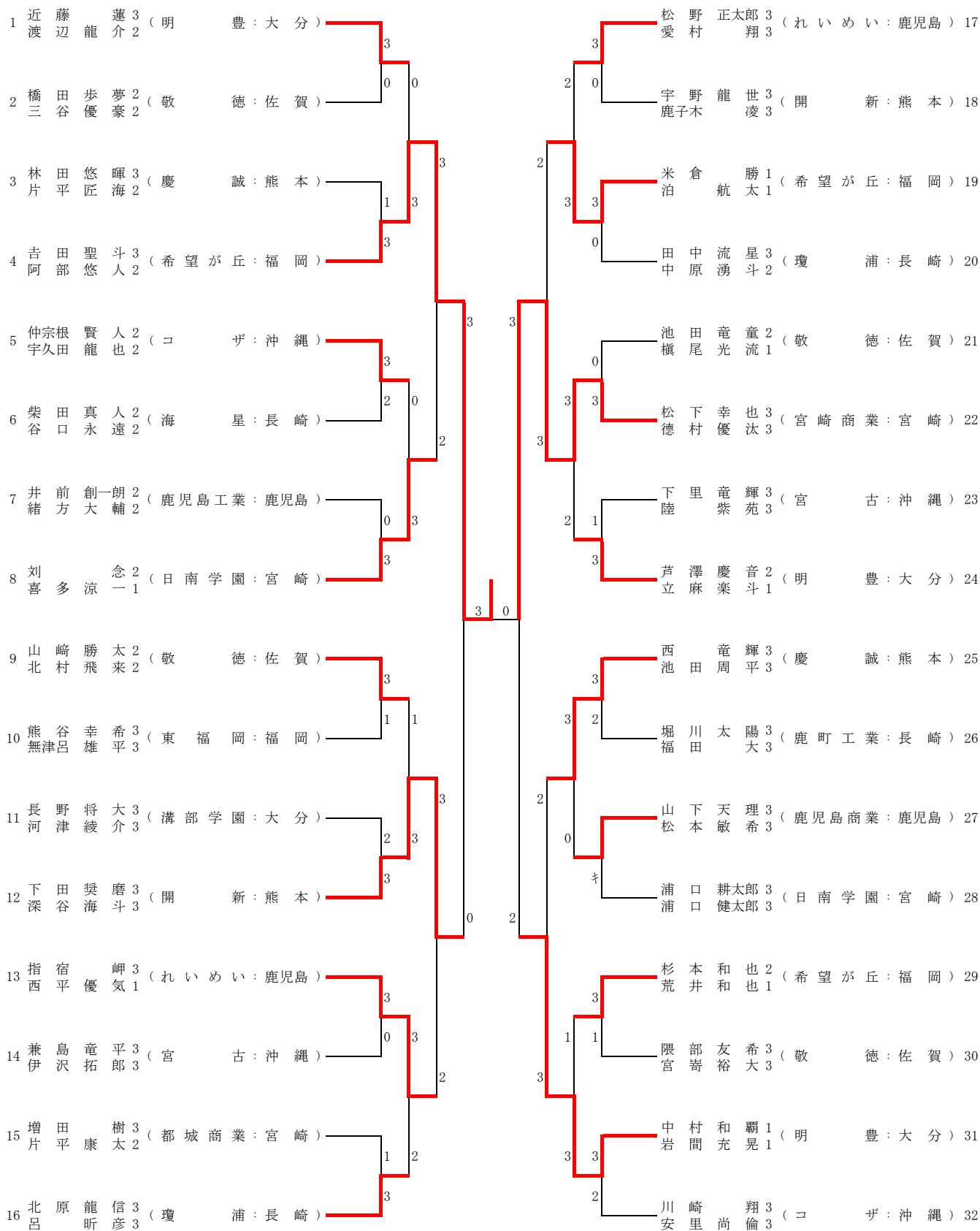


【男子学校対抗優勝：希望が丘 (福岡)】



【女子学校対抗優勝：希望が丘 (福岡)】

男子ダブルス

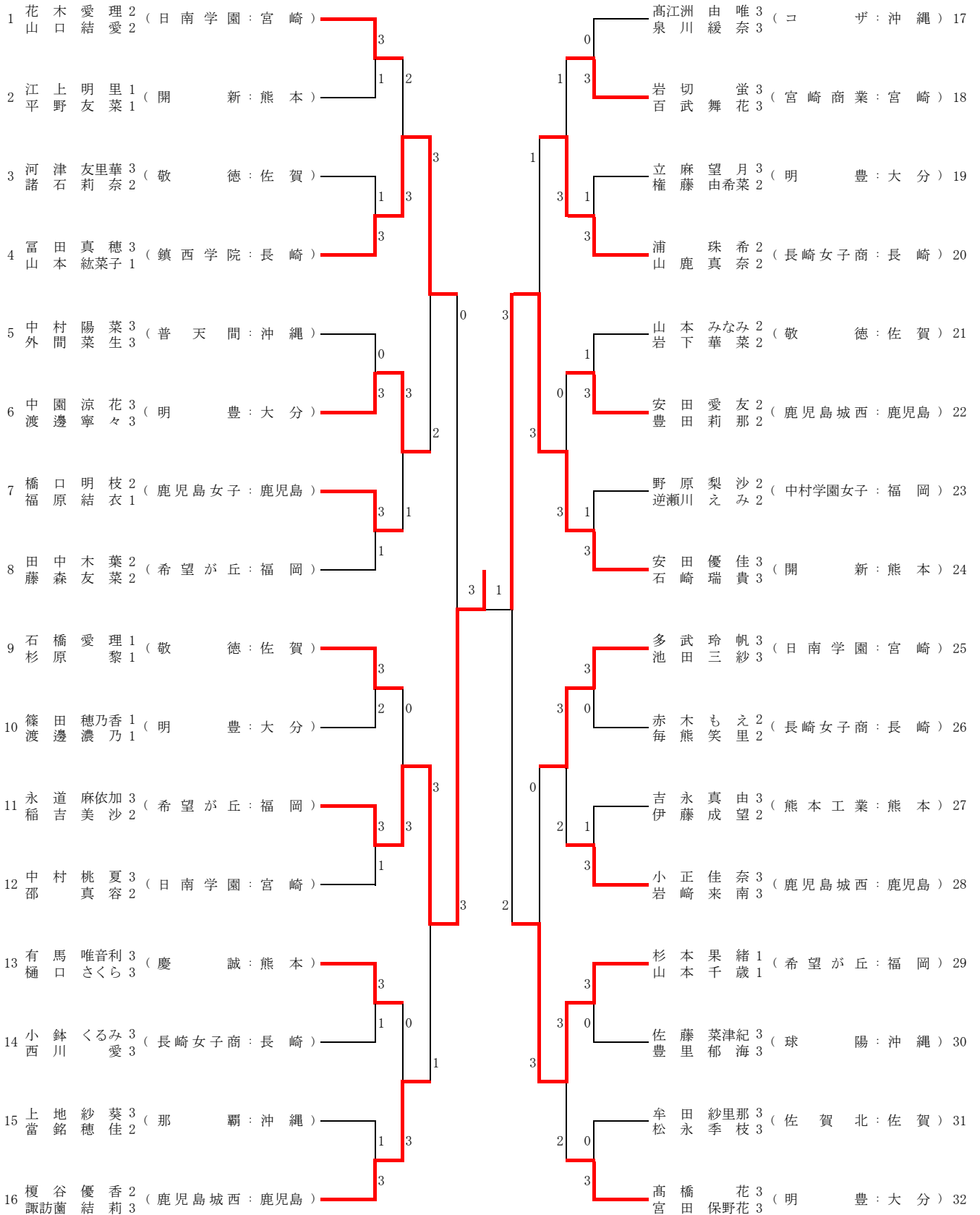


決勝記録						
吉田 聖 斗		11	-	6		松下 幸 也
阿部 悠 人	3	11	-	7	0	徳村 優 汰
(希望が丘)		11	-	8		(宮崎商業)



【男子ダブルス優勝 吉田・阿部組 (希望が丘)】

女子ダブルス



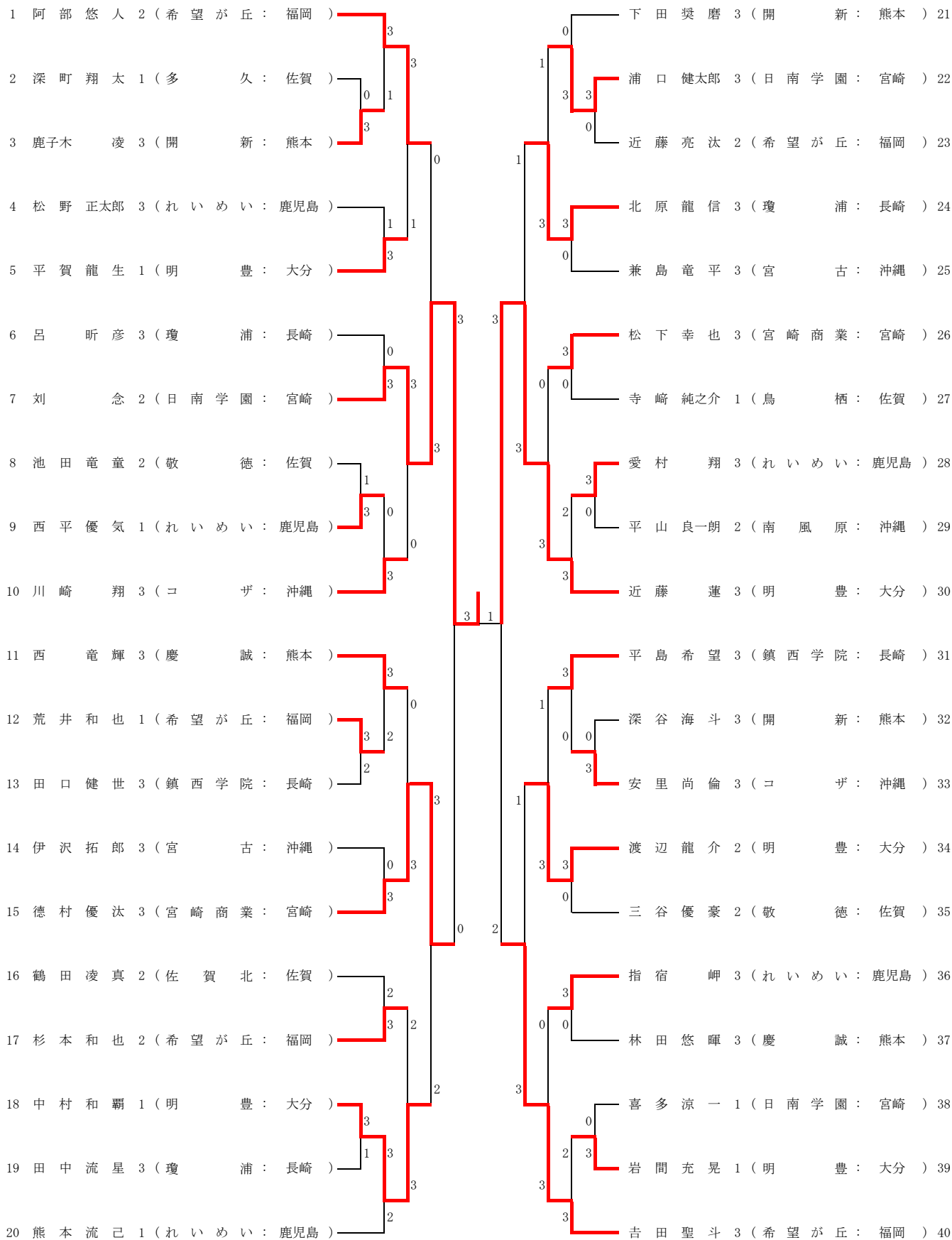
決勝記録

永道 麻依加 稲吉 美沙 (希望が丘)	3	11 - 9	1	安田 優佳 石崎 瑞貴 (開新)
		11 - 6		
		8 - 11		
		13 - 11		



【女子ダブルス優勝 稲吉・永道組 (希望が丘)】

男子シングルス

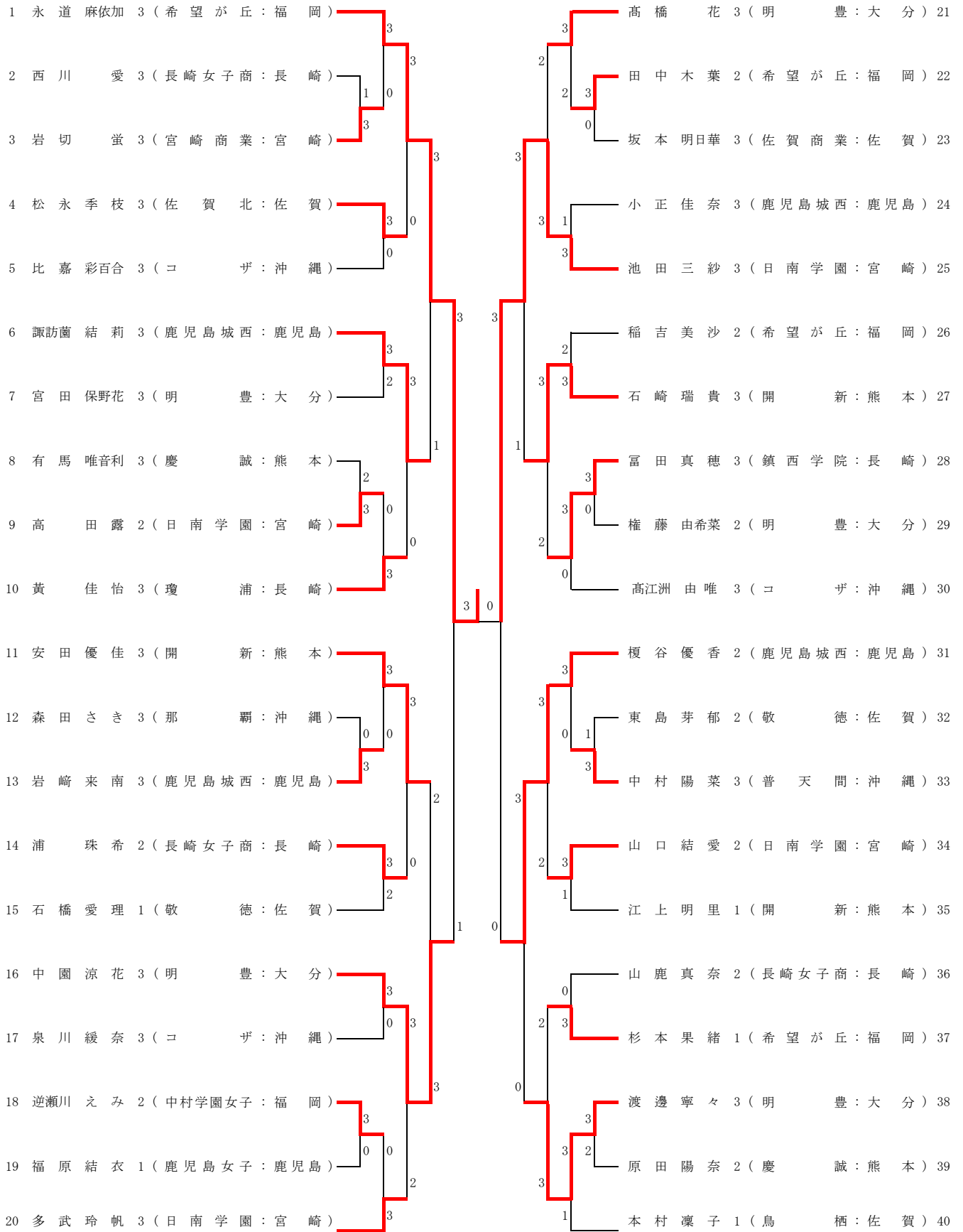


決勝記録					
刘 念 (日南学園)	3	11	-	13	1 近藤 蓮 (明豊)
		11	-	9	
		11	-	6	
		11	-	5	



【男子シングルス優勝 刘念選手 (日南学園)】

女子シングルス



決勝記録					
永道 麻依加 (希望が丘)	3	11	-	6	池田 三紗 (日南学園)
		11	-	9	
		14	-	12	
				0	



【女子シングルス優勝 永道麻依加選手 (希望が丘)】